

あけましておめでとーございませう!



今年で復活25周年を迎えるSL C57-180号機



新津駅東口から徒歩3分にある「マチーシャの杜」
※2023.10月 2店舗オープン



古民家宿「スロウハウス」
※2023.11月オープン

にいつホヤト
ステーション

2024. 1
vol. 874

毎月1回発行

発行所 / 新津商工会議所
編集発行人 / 渡辺 稔

〒956-0864
新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email: n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/



新年のご挨拶

新津商工会議所会頭

前田 正実

明けましておめでとーございませう。
令和6年の新春を迎え、謹んで皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は一昨年に続き円安が大きく進み、物価が高騰するなど、事業所並びに一般家庭でも厳しい年の瀬になったのではないかと察しています。

「新型コロナウイルス感染症」は5類に引き下げられました。その影響が回復するまでに至らず、今後アフターコロナ、ビヨンドコロナの取り組みがさらに重要になってくるものと感じています。

当所も約千二百名の会員を抱えており、一つ一つの会員に寄り添い、会員の安心・安全のため、様々な事業に取り組みでまいりました。会員の皆様が満足した取り組みであったかどうかは、自信を持って言えない状況でありましたが、私は会頭としてリーダーシップを発揮するとともに、地元のために奔走した1年であったと思っています。

一昨年の水害で磐越西線が不通となり運行が中止となっていました。「SLばんえつ物語」号は、4月に磐越西線が復旧し7月から運行できました。私も関係省庁に出向き要望を上げさせていただきましたが、関係各位の皆様のお陰と改めて感謝しております。

当所では、地元商店街の活性化策として、「鉄道音楽祭」「鉄づら抽選会」「にいつナイトステーション酒っ衆っ歩っぽ」などの事業に取り組んだ他、「新津松坂流し」、「屋台・たるみこし祭り」、「鉄道まつり」、「ハロウィン仮装まつり」を開催し、行政や地域の皆さんと一緒に賑わいの創出に取り組みしました。また、当所の役割はまちづくりを進めることが大きなミッションとなっておりますので、「にいつまちづくり会議」では「まちなか再生」、「定住人口促進」、「交流人口拡大」の3分科会に分かれて様々な意見交換がなされ、初めての試みとして、分科会合同で横浜の野毛商店街や大宮にある鉄道博物館を視察するなど分科会間の交流も進めました。

当所の常議員や議員、「まちづくり会議」での要望を取りまとめ、10月17日には、県内の16商工会議所が合同で、花角知事に対して要望書を提出し意見交換を行ったほか、市内の3商工会議所が合同で10月31日に、中原市長、皆川市議会議長にお会いし、要望書を提出し意見交換を行いました。

そのほか国が進める脱炭素社会を構築するための取り組みも当所として推進しており、「秋葉区みらい会議」で、一昨年の11月22日に国の脱炭素先行地域事業に応募することとなりましたが、残念ながら8月には間に合わず、今年の2月応募に向け、関係者で指定に向け検討を進めています。

旧ホテル美好跡地の新津駅前開発は未だ始まっておりませんが、中心市街地では様々な開発が進んでおり、街が大きく変わろうとしています。さつき野駅や荻川駅の周辺部でも10年ぶりに市街化区域の線引きが行われ、秋葉区の宅地開発にも今後拍車がかかっていくものと思っております。当所も開発事業者に対して、随時、新津の「まちづくり」に繋がる開発をしていただくよう引き続き要望してまいります。

私は一昨年の11月の臨時総会において、新津の経済発展のため二期目となる会頭を引き受け、1年あまりが経過しましたが、さらに取り組みを進め、まちなかに賑わいが戻り、誰もが住みたくなる、そして多くの皆様が新津を訪れたいくなるようなまちづくりを、国・県・市と連携を図りながら推進して行くことをお約束いたします。

会員の増加は会議所の総力を上げることに繋がります。また地元で働く場を確保することは、定住人口の増加にも繋がります。

一昨年の1月に、新潟薬科大学の伊藤満敏学長特別補佐様からご提案頂きました中核食料生産基地構想につきましては、昨年の10月27日に、大手投資家で構成する研究会の中で、食料生産基地の必要性並びに秋葉区の優位性についてプレゼンテーションを行って参りました。その中でいんなご助言を頂き、その内容を基に、11月には大手食品製造業にアンケートを実施し、今後は秋葉区に進出の意欲のある事業者に対しては、直接出向いてお話をする予定としております。

この構想を成就するためには、会員の皆様から多大なご支援いただくとともに、行政、大学並びに秋葉区民の皆様からもご支援・ご協力をいただければ幸いです。

結びに会員の皆様方、地域の皆様方のご隆盛とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。今年もよろしくお願いたします。